



高山西ロータリークラブ

No. 2353 例会 平成 26 年 6 月 6 日

お祝い・会員スピーチ

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 山下 明
- 幹事 寺田 昌平
- 会報委員長 堀川 和士



小瀬 真之介

長瀬 達三

<会長の時間>

時の記念日と号砲平の“ドン”

・6月10日は時の記念日です。世界でも例を見ない珍しい記念日です。大正9年に生活改善協会が、生活改善は国民がきちっと時間を守ることから始めようということで、正確な時計を持っていた時計師が街頭に出て、通行人の時計を正確な時計に合わせるキャンペーンをやったそうです。



・当時の時計は、たいてい家につ。柱時計が大黒柱にかかっていた程度。懐中時計を持っていた者は富裕階級に限られていた。そうした状況の中で、時間を守れと言っても無理な話であったようです。

・明治6年に太陽暦に改暦されるまで、庶民の生活は不定時法による時刻制度であるため、時間の概念がアバウト(1時(トキ)が2時間、1刻が30分)というか、時間に追われあくせく動き回る事がなく、自然のリズムというか体内時計に沿って、明六ツに起き、暮六ツに仕事を止め、夜四ツには家に帰るといった生活に馴染んでいました。江戸時代の庶民は、寺の鐘によって時間意識は高かったと言われていましたが、共同体としての時間は守るのですが、個人的には時間意識はルーズであったと。高山でも少し前までは、高山時間なるものがあって、約束の時間に対してアバウトでありました。高山ばかりでなく、全国どこの地域でも同じような状況だったようです。

城山号砲平の“ドン”について

・明治4年、軍は皇居日本丸において、正午を知らせる大砲を1発鳴らして時報を知らせ、この時報を午砲(ドン)と名付けたそうです。2時間単位とする大雑把な不定時法では、軍の規律もあったものではないという事で、各人共通の時間を正確に知らせるという意味で、大砲(もちろん空砲)による時報が実地されたようです。

・明治6年太陽暦に改暦され、時刻は不定時法から定時法に移行しました。定時法時刻制度を庶民に知らせる方法として、明治4年に行なわれていた軍部の午砲(ドン)が採用され、初めは陸軍の師団司令部所在地に限られていましたが、順次 地方都市で実地されるようになりました。

・高山市史によると、明治20年に正午を知らせる“ドン”として、約200貫の青銅砲が城山に据え付けられたそうです。資料によると号砲は、名古屋、熊本、広島は明治17年、静岡は明治32年、長崎は明治36年、沼津は明治44年に実施されたこと。高山は地方都市にもかかわらず明治20年とかなり早く、高山市の行政は、改暦に対する取り組みは並々ならぬ決意があったようです。

・昭和12年に40年間続いた城山の“ドン”は廃止。ちなみに東京の“ドン”は昭和4年に廃止され、日本丸にあったこの大砲は小金井公園に保存されています。“ドン”の代わりにサイレンが正午を知らせるようになり、昭和50年代までサイレンの時代が続いたそうです。

・城山の号砲は、昭和16年に供出されたそうです。供出令によってお寺の鐘も、仏具も鉄具も供出。戦争に敗けるべくして敗けた感があります。
・号砲平の資料を調べていると、定時法が定着するまでにかかっている長い時間がかかった事が分かります。

<幹事報告>

◎高山市長 國島 芳明より

・いのちの森づくり第三章

「植樹祭」へのご案内について

日時 6月28日(土) 午後1:30~4:00

会場 飛騨・世界生活文化センター 参加費 無料

持ち物 移植ごて、軍手、タオル、帽子、飲み物など

※ 翌29日(日)、乗鞍山麓五色ヶ原の森自然体験ツアーあり(希望者のみ、参加費別途)。



◎高山市青少年市民会議より

・平成26年度「高山市少年の主張コンクール」出役について(

日時 6月15日(日) 13:30より

出役時間 12:00~17:00頃まで

会場 高山市民文化会館小ホール

◎高山市社会福祉協議会より

・平成26年度第1回評議員会の結果報告について

◎高山市民憲章推進協議会より

・平成26年度高山市民憲章推進協議会総会資料

◎高山市都市提携委員会より

・平成26年度高山市都市提携委員会定例会資料

<受贈誌>

社団法人高山市文化協会(広報高山の文化)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	40名	1名	41名	51名	80.39%
本日	42名	—	42名	51名	82.35%

<本日のプログラム> お祝い

◎会員誕生日(当日欠席)

東 庄豪 6. 3 井上 正 6. 15

◎夫人誕生日

堀川 和士 規子さん 6. 15

下屋 勝比古 ひとみさん 6. 20

新井 典仁 由美さん 6. 1

◎結婚記念日

塚本 直人 H13. 6. 29

山下 直哉 H 8. 6. 9

ロータリーを实践してみんなに豊かな人生を

例会報告

◎出席表彰

平 義孝 29年

小林 勝一 8年
(当日欠席)

◎在籍周年記念表彰

なし

◎3ヶ月表彰

・大村 貴之 ・小林 勝一 ・塚本 直人 ・寺田 昌平
・野戸 守 ・平 義孝 ・堀川 和士



会員スピーチ

西村 直樹



略歴：1967(昭和42年)10月7日 大阪市生まれ 血液型O型 現在46歳。3歳で高山に移住。高山市立北小学校 高山市立中山中学校 県立斐太高校 名城大学法学部 中退。大学在学中からバイトしていた広告制作会社入社。仕事内容はコピーライター。3年後、実家の家業を継ぐため高山に帰郷。平成17年、代表取締役就任。現在に至る

趣味：競馬 … 競馬歴26年。依然負け続けている。
読書 … 歴史ものが好き。特に中国春秋戦国時代。現在使われる「ことわざ」の8割がこの時代のものだといわれている。

営業内容：高山市大新町1丁目 江名子川河畔にて郷土料理店「京や」を営む。飛騨の郷土料理を中心にした、古き良き庶民の伝統食を提供。創業は昭和54年 36年目。「京や」の屋号の由来は、京都とは全く関係無い。母親が「京子」という名であるため、そこから名づける。営業時間は、11時から10時。中休みがないので、お昼時よりまったりと飲みたいお客様に喜んでいただいている。

商売の傾向：飲食業は山あり谷ありで、文字通り水商売。行きづまりそうな時も多々あったが、「漬物ステーキ」がTVの県民ショーで取り上げられたり、「鶏ちゃん」がちょっとしたブームになったりとその都度運よく続けられている。最近では日本人の観光人口が減る中、外国のお客様が増えている。

外国人のお客様：10年程前より外国のお客様が増え始める。その理由は、20年前より高山市が外国人観光客誘致に取り組み始める。その後、白川郷が世界遺産になったこと、ミシュランで高山が三ツ星をとったことに起因する。3年前の震災前が外国人がピーク。しかし、震災直後そのほとんどがキャンセルになり大打撃。その後徐々に持ち直し、現在は震災前の状態に戻る。

こんな片田舎の店にも世界情勢の影響が顕著に表れることに驚いている。

例えば2010年のギリシャ経済破綻。結構ギリシャ人の来店もあったが、その後現在に至るまで、皆無。

2011年の東日本大震災。特に原発先進国のフランス人は来日を敬遠し、当店でも400人を超えるキャンセル。

先日のタイ国クーデター。前日まであふれんばかりのタイのお客様が、翌日からパツパツ。

最近では、新聞を読むとき、国際欄から目を通すようになってきた。政治的な話をするつもりはないが、最近の日中関係が微妙。先日来店したお客様に「どこから来たの?」といつも通り聞くと、「・・・」ん?と、もう一度聞くと、伏し目がちに、蚊の鳴くような声で「上海」。日本で中国人と分かるとあまり良い待遇ではなかったのかと想像される。悲しい出来事である。

外国人への対応：さて、その外国人への対応。最初のころは、さっぱり言葉が通じず悪戦苦闘の毎日。そこで英語メニューを作ったり、地球儀を買ってきて指さしてもらったりと、なんとかコミュニケーションを取って喜んでもらおうと必死に取り組む。そのうち10%ほどしか理解できなかった会話が、現在は70%ぐらいはなんとか。女将は現在も10%ほどだが、ほとんど高山弁でしゃべってお客様も笑顔でやりとりをしている。端で見ながら、「慣れとは恐ろしい」と思う今日この頃。

お国柄：このようにほぼ毎日外国人と接していると、その国の国民性が何となく分かってくる。例えば、

- イスラエル … 最初は難しい顔をして高圧的態度だが慣れると満面の笑顔
- タイ … はにかみ笑顔がフレンドリーで、マナーはとても良い
- オーストラリア … やたらに陽気。常に陽気。
- フィンランド … 最初はとてもおとなしいが、酒を飲むとオーストラリア人並みに陽気。
- ドイツ … 物静かで、日本人に似ている。
- NY … オシャレだが、世界中英語が通じると思っている。しかも早口。
- アメリカ地方部 … 良い意味で牧歌的な田舎者。高山人と酷似。

以上は個人的感想にて悪しからず

外国人の高山の印象：彼らに必ず聞くことがある。「高山はどうですか?」全員が全員言うのは「街がとてもきれいな。ゴミ一つない」「とても親切。忘れ物をホテルまで届けてくれる」今後も大切にしたい事である。

仕事をしながら海外の人と触れ合える。生意気にも海外旅行が好きだが、今は別に外国に行かなくてもよい。毎日が海外旅行をしているような気分だから。大変なことも多いが、楽しみながら仕事をしていることに感謝している。

<ニコニコボックス>

●山下 明さん

西村 直樹さん、本日の会員スピーチよろしくお願ひします。入会されて約1年経ちました。色々感想をお聞かせ下さい。

●寺田 昌平さん

- ・本日の会員スピーチ西村 直樹さんです。大いに期待し楽しみにしています。ありがとうございます。
- ・明日午前8時30分よりワールドカップ親善試合、ザックジャパン対ザンビア、どんな内容の試合か、誰がヒーローとなるか楽しみます。

●西村 直樹さん

本日スピーチをさせて頂きます西村です。仕事で欠席ばかりしてしまして恐縮です。しかも本日スピーチという事で大変緊張しておりますが何卒よろしくお願ひ致します。

●伊藤 松寿さん

6月1日の斐太高校創立128周年の有斐会の総会を会長として無事乗り越える事が出来ました。とりわけ立派な司会をして頂いた下屋勝比古さん、誠にありがとうございます。また小森さん、葛谷さん、ご出席ありがとうございました。

●小森 丈一さん

伊藤松寿さん、有斐会長就任おめでとうございます。2年後には創立130周年を迎え忙しくなりそうですね。頑張ってください。

●堀川 和士さん

6月1日、またまた大漁でした。今年の真鯛は大物ばかりそろえます。当たり年かもしれません。

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を